



# フェンスAR フリーポールタイプ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明

**警告**

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

**注意**

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

**お願い**

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。  
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## □施工の前に

### ▲警告



- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。
- 手すりではありません。フェンスに乗ったり、寄りかかったり、揺すったりしないでください。転倒・転落のおそれがあります。

### ▲注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### 施工前のお願い

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化の原因になります。

## 施工上のご注意

### ▲ 注意



- ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

〈推奨トルク〉

φ4/M4ネジ:

1.5N・m±0.5N・m(15±0.5kgf・cm)

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。アルミなどの金属が腐食し強度低下の原因となります。

- 現場で取付金具や継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故のおそれがあります。

- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。

- 柱と本体ジョイント部の間隔は基本寸法図に沿って施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。



- 組付け後、必ず鋭利な切断面やバリが露出していない事を確認し、修正してください。ケガをするおそれがあります。



- 製品の改造は絶対にしないでください。不具合・強度低下などの原因になります。

- 施工終了後は、ネジにゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

### 施工上のお願ひ

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## 基礎工事について

### ▲ 注意

- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食するおそれがあります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- ご使用になる場所に合わせて基礎寸法を算定してください。本取付説明書に記載している基礎寸法は、長期地耐力100KN/m<sup>2</sup>、風速38m/秒相当の地域を想定した参考寸法です。
- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。


# チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

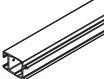
## ●柱埋込み、水抜き孔、ネジ止め




No.	ページ	チェック内容	
1	7	傾斜地施工時は、柱センター部が埋込レベルになるように施工されましたか。	<input type="checkbox"/>
2	7	柱の水抜き孔が、塞がっていないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
3	—	各取付けネジは同梱のネジを使用し推奨トルクでの取付けを行い、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>




# 梱包明細表





【1】 フェンス本体		
名 称	略 図	員 数
フェンス本体		1



【2】 柱セット				
名 称	略 図	員 数		
		H1800・H2000	H2500	H3000
支柱 (H1800・2000用)		1	—	—
支柱 (H2500用)		—	1	—
支柱 (H3000用)		—	—	1
支柱裏蓋		1	1	1
胴縁受金具		3	3	4
【2a】M4×20サラ小ネジ		2	2	2
【2b】M8×90六角ボルト		3	—	—
【2c】M8×110六角ボルト		—	3	—
【2d】M8×135六角ボルト		—	—	4
【2e】M8バネ座金		3	3	4
【2f】M8平座金		3	3	4
【2g】φ4×13ナベドリルネジ		3	3	4

【3】 胴縁セット			
名 称	略 図	員 数	
		3本入り	4本入り
胴縁		3	4

【4】 胴縁キャップ			
名 称	略 図	員 数	
		6個入	8個入
胴縁キャップ		6	8
【4a】φ4×16トラスタッピンネジ3種		6	8
【4b】φ4×25サラタッピンネジ3種		12	16
取付説明書	—	1	1

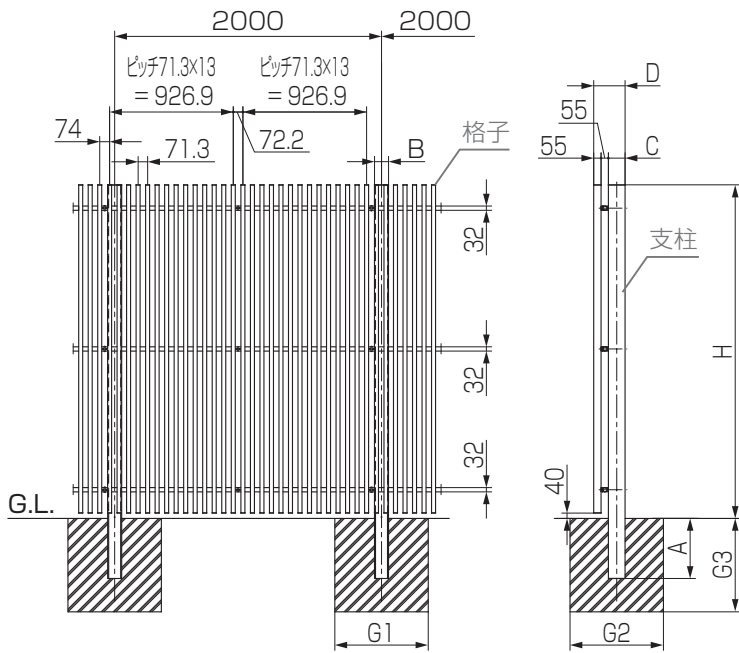
【5】 胴縁継手			
名 称	略 図	員 数	
		3個入	4個入
胴縁継手		1	1
【5a】φ4×16トラスタッピンネジ3種		6	8
【5b】φ4×25サラタッピンネジ3種		12	16

【6】 コーナー継手			
名 称	略 図	員 数	
		3個入	4個入
コーナー継手		3	4
【6a】φ4×12トラスタッピンネジ3種		6	8
【6b】φ4×16トラスタッピンネジ3種		6	8
【6c】φ4×25サラタッピンネジ3種		12	16

【7】 コーナー格子			
名 称	略 図	員 数	
		H1800・H2000・H2500	H3000
コーナー格子		1	1
【7a】φ4×25トラスタッピンネジ3種		3	4

# 基本寸法図

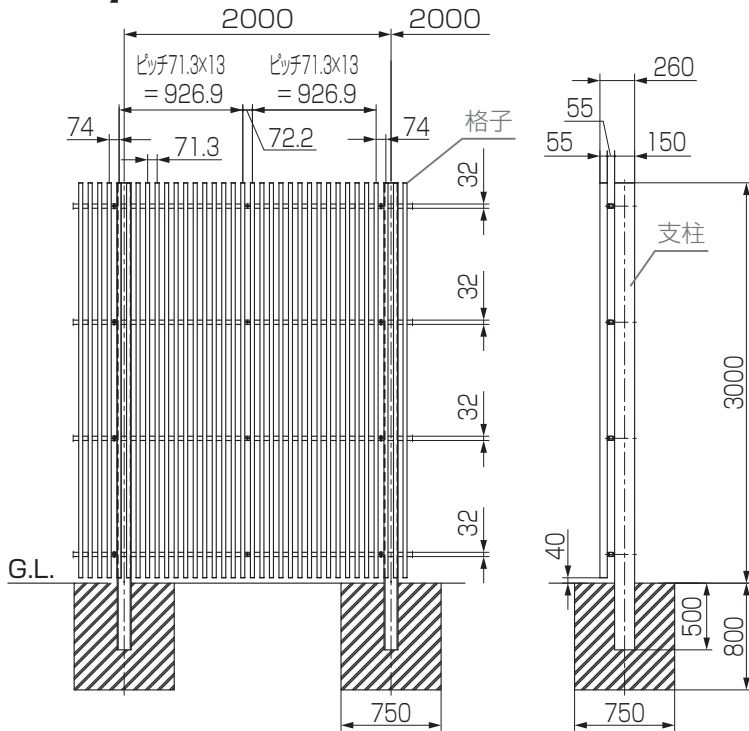
## 【H1800~H2500】



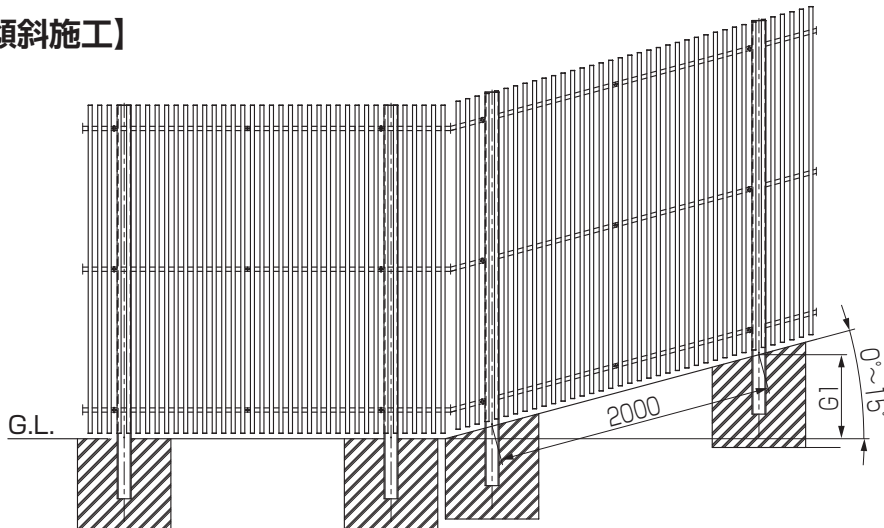
## ●寸法表

H	A	B	C	D	G1	G2	G3
1800	350	75	105	215	550	550	600
2000	400	75	105	215	600	600	700
2500	450	105	125	235	700	700	700

## 【H3000】

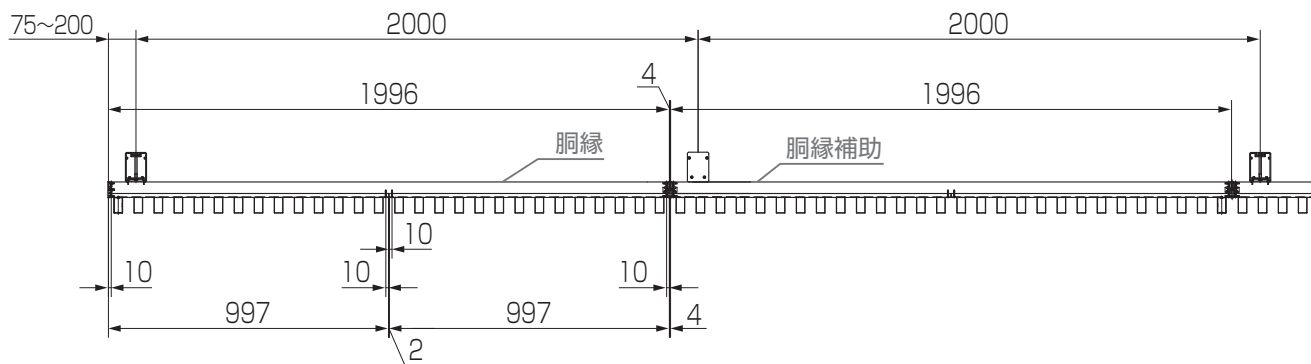


## 【傾斜施工】

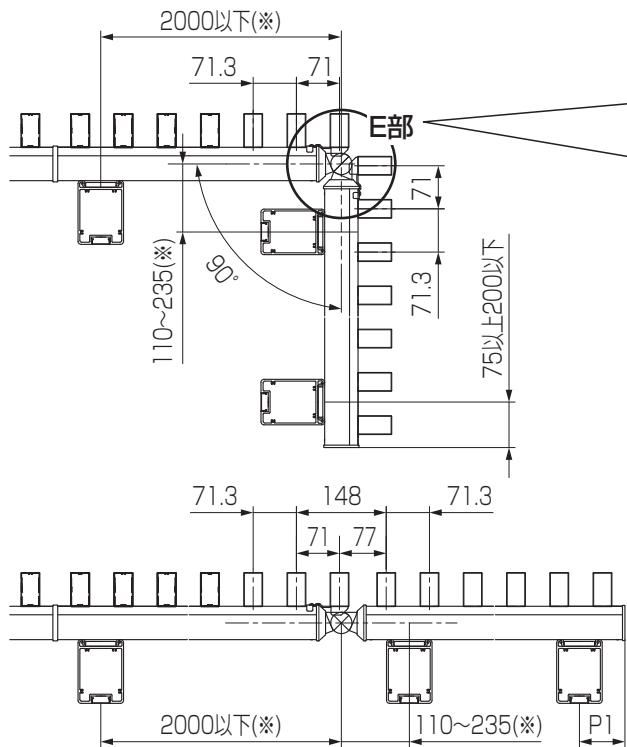


# 基本寸法図

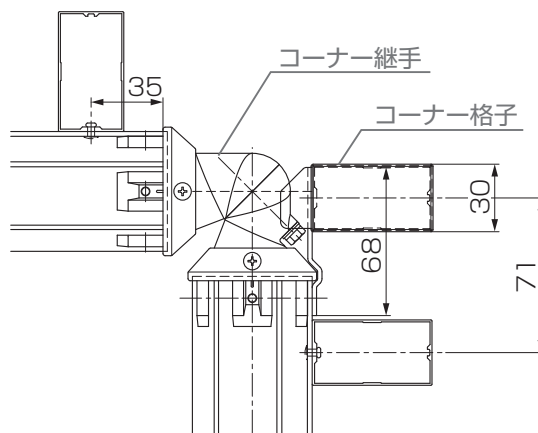
## 【断面図】



## 【コーナー施工 断面図】



## 【E部詳細図】

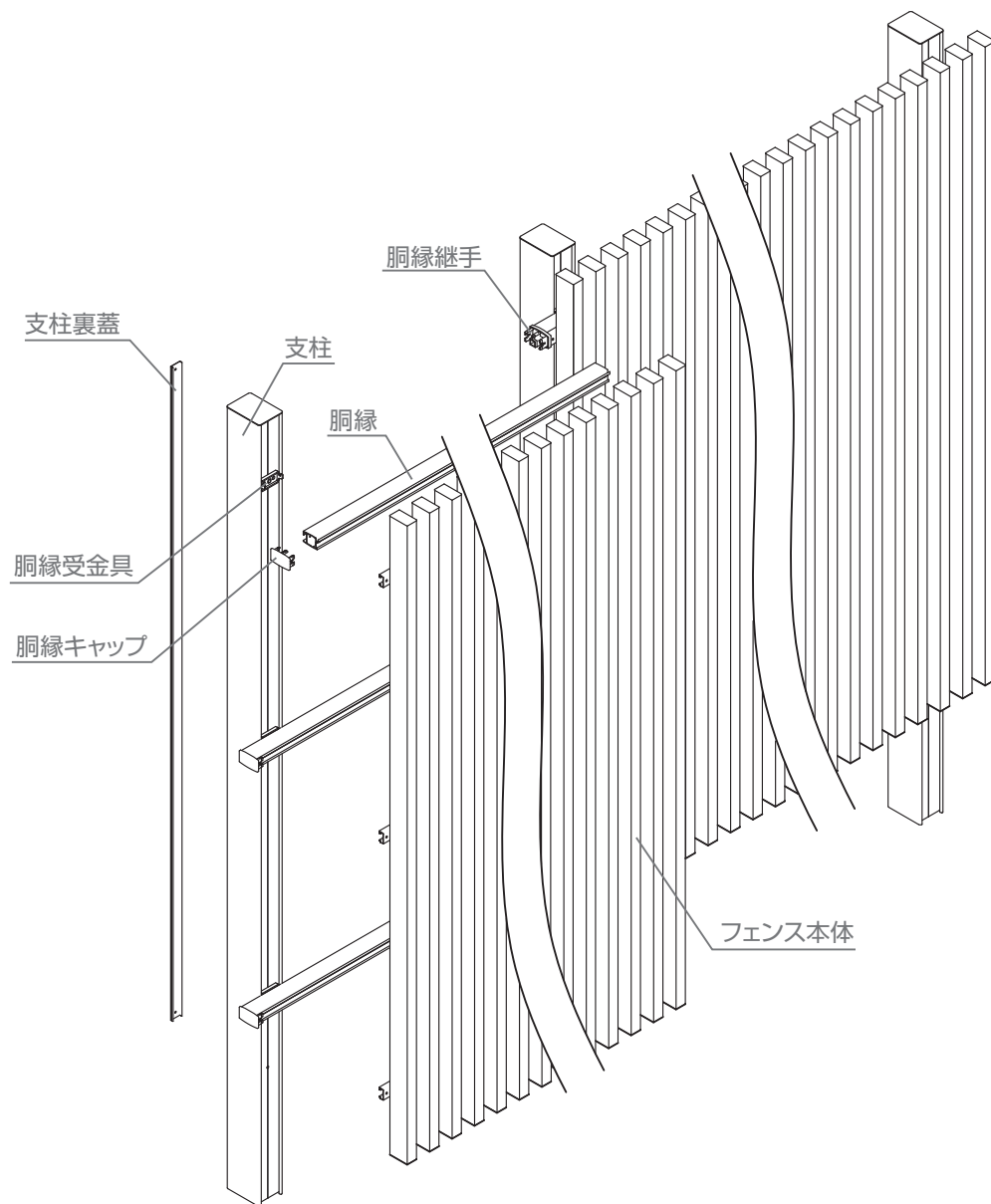


※柱と本体ジョイント部の間隔は柱1本をジョイント部中心から110~235mm以内で立て、もう一方を基礎同士がぶつからないよう、2000mm以下で納めてください。

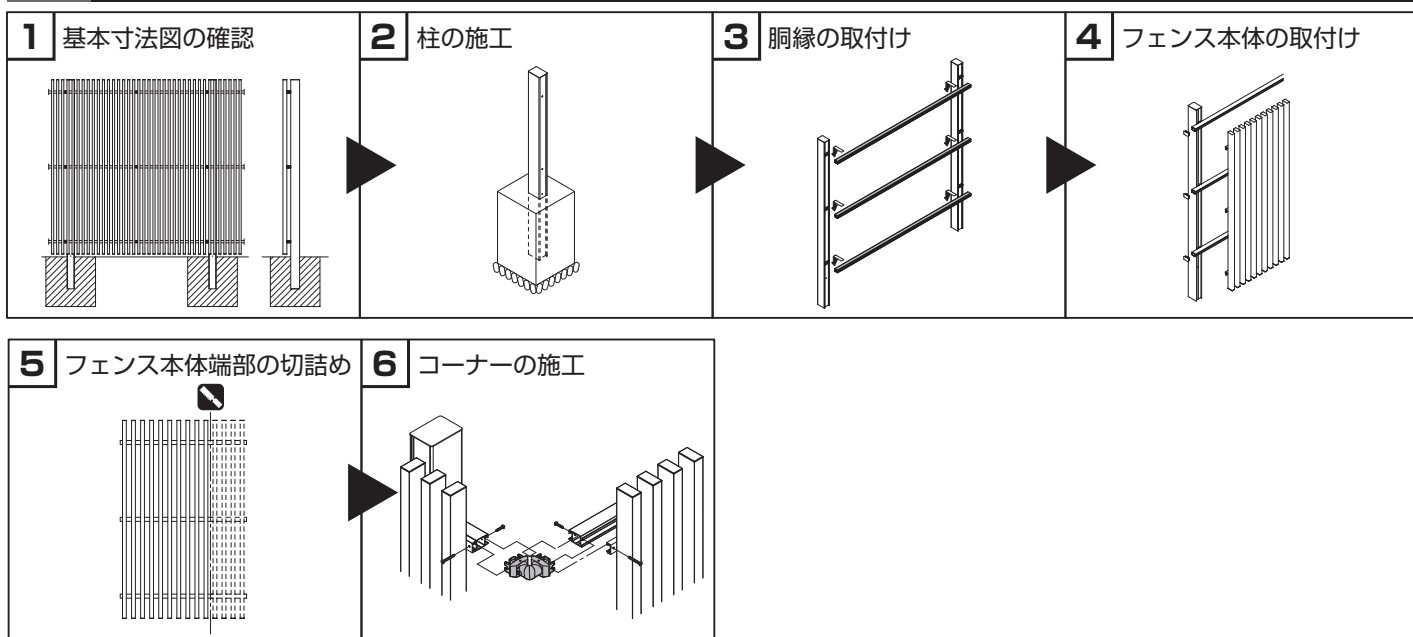
## ●コーナー角度対応範囲

	コーナー格子なし	コーナー格子1本	コーナー格子2本
出隅			
入隅			

# 各部の名称



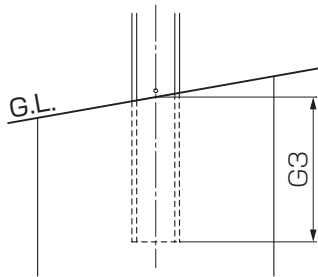
# 施工の流れ



# 1 柱の施工

## 施工上のお願い

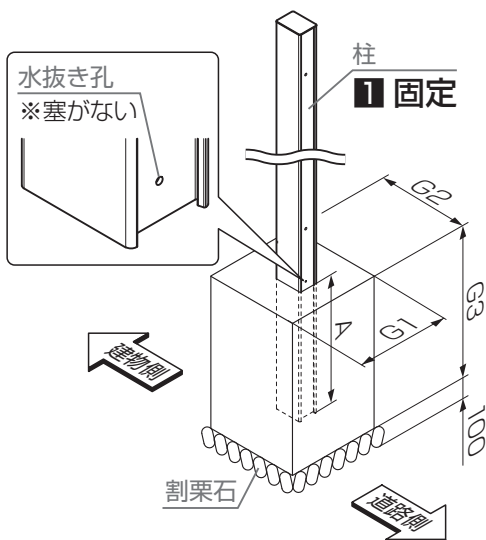
- 傾斜地施工時は、柱センター部が埋込レベルになるように施工してください。



## ⚠ 注意

- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。

1:基礎寸法表を参考に基礎施工を行い、柱をコンクリートで固定



## ●基礎寸法表 (寸法単位: mm)

呼称	A (柱埋込寸法)	G1	G2	G3
H-1800	350	550	550	600
H-2000	400	600	600	700
H-2500	450	700	700	700
H-3000	500	750	750	800

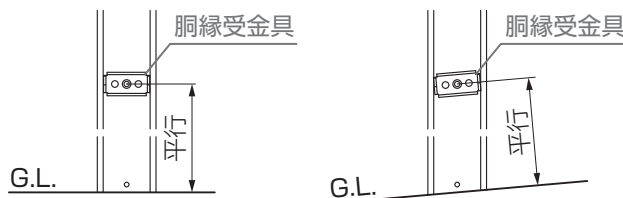
※基礎寸法は参考値です。

# 2 胴縁の取付け

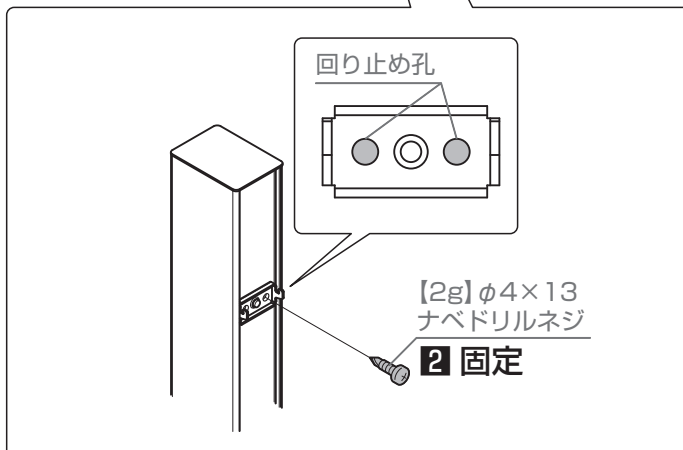
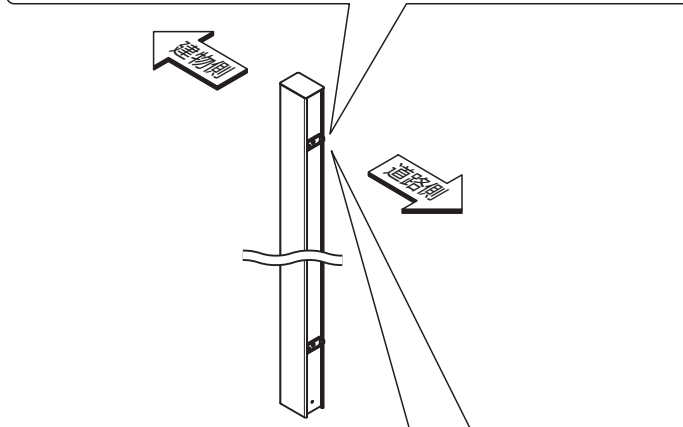
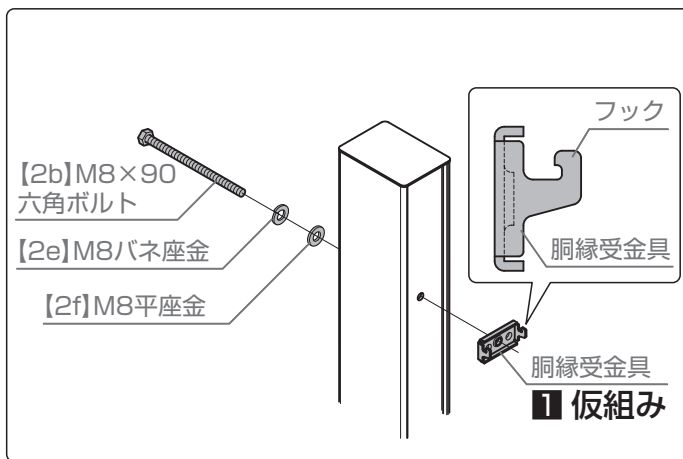
- 1:胴縁受金具を柱に【2b】(または【2c】、【2d】)と【2e】、【2f】で仮組み
- 2:胴縁受金具の回り止め孔部分に【2g】をねじ込み、金具が回転しないように固定

## 施工上のお願い

- 胴縁受金具のフックが上を向くように取付けてください。
- 胴縁受金具は水平もしくは傾斜角度に合わせてください。



- 回り止め孔は2個あります。どちらか作業し易い方の片側の孔にドリルネジをねじ込んでください。

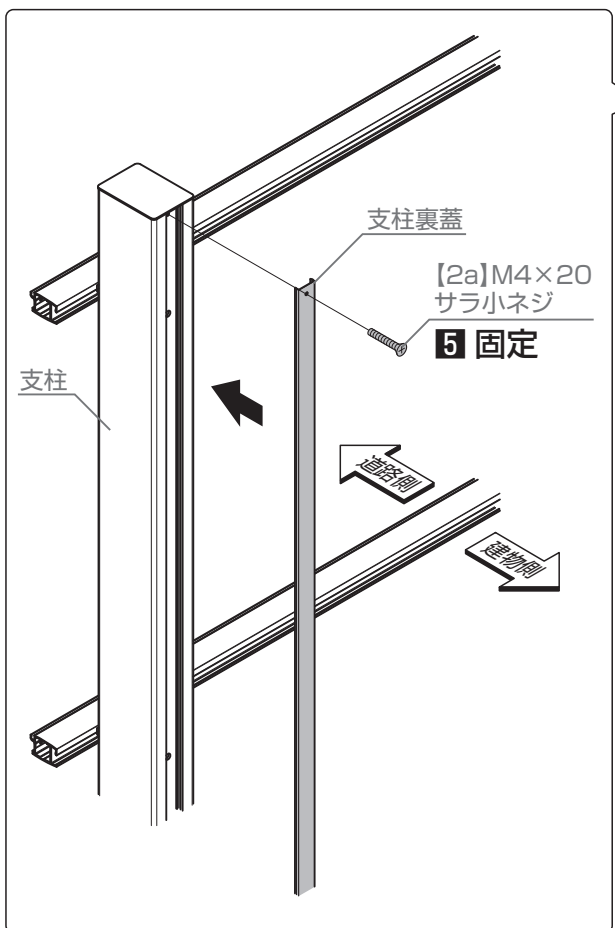
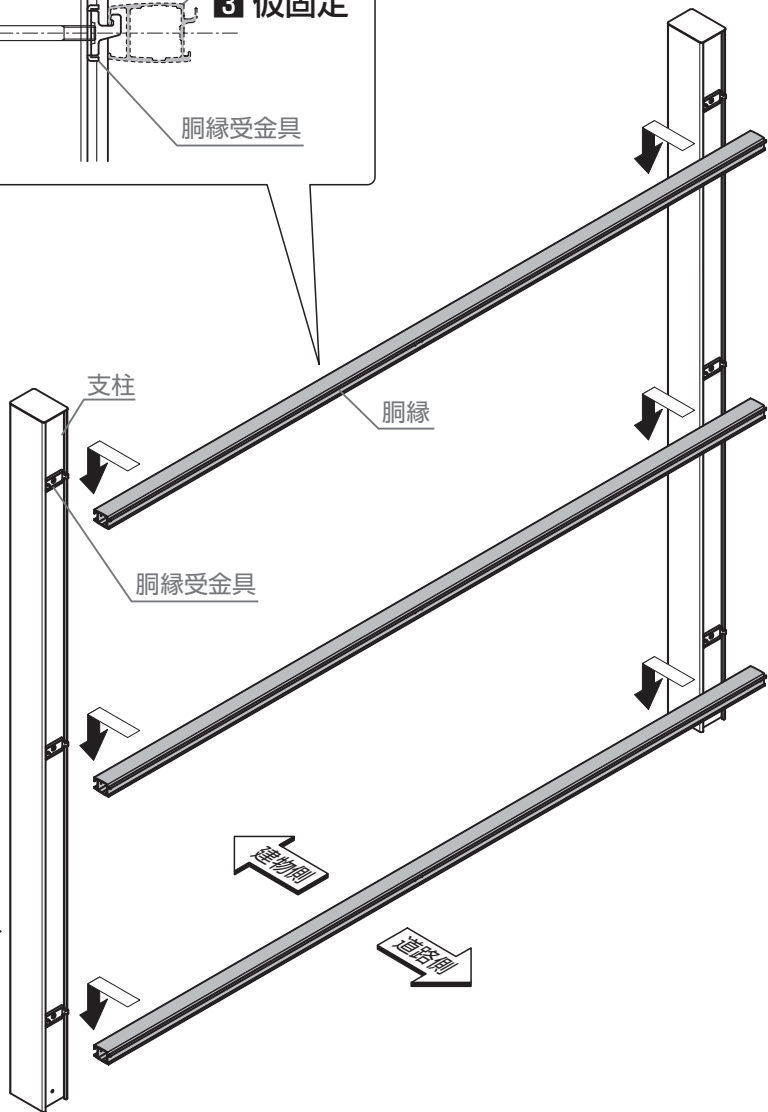
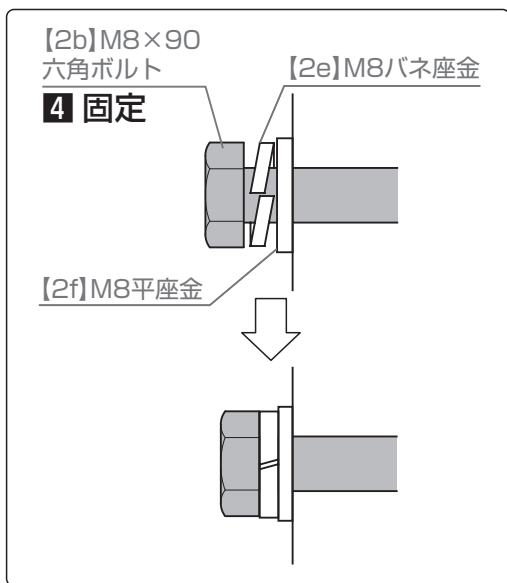
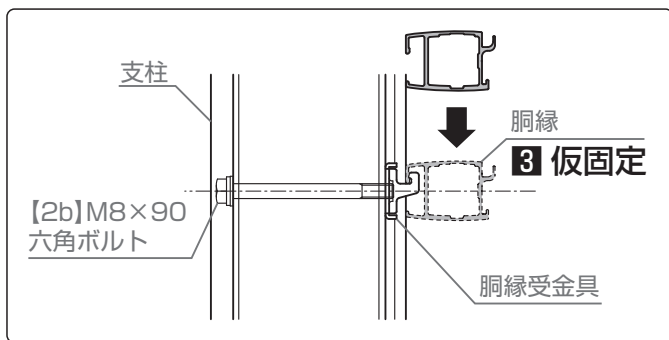


## 2 胴縁の取付け

3: 胴縁背面の溝を胴縁受金具のフック部分に差込み仮固定

4: 仮組した【2b】(【2c】、【2d】)を締付けて固定

5: 支柱裏蓋を支柱背面の溝に差込み【2a】で固定



**施工上のお願い**

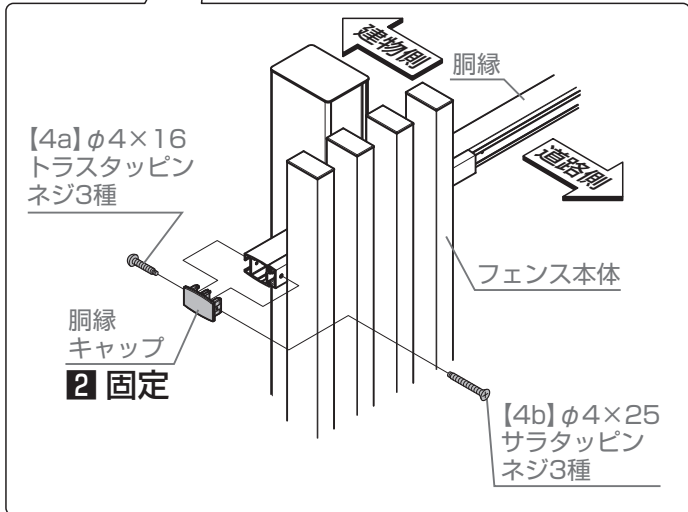
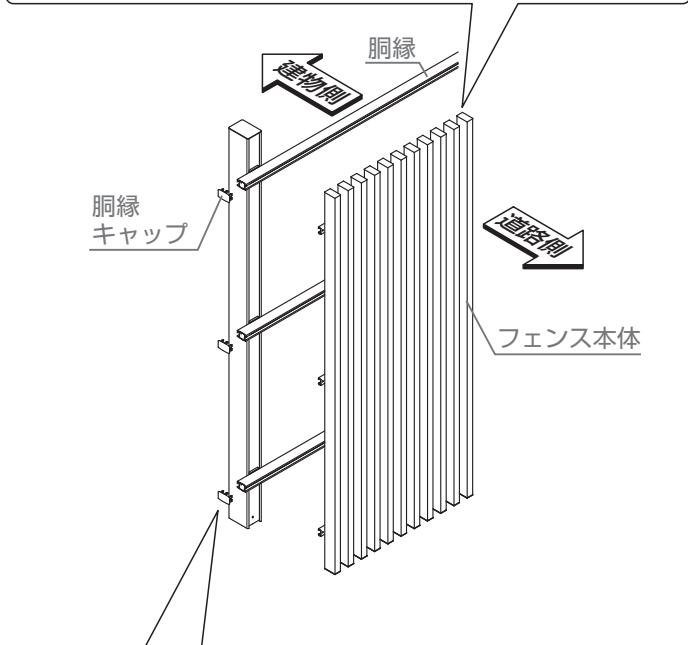
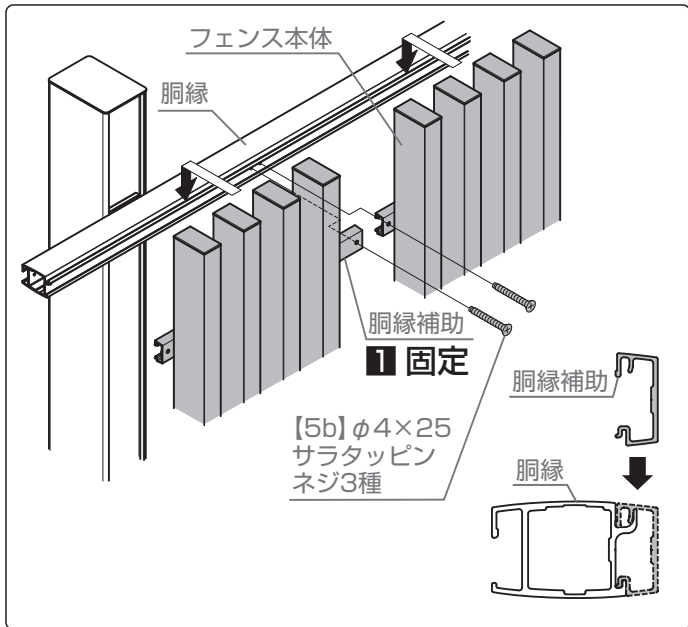
● 胴縁の水平方向のずれは±0.5mm以内で取付けてください。位置が大きく異なる場合は本体パネルの取付けができなくなります。



# 3 フェンス本体の取付け

1: フェンス本体の胴縁補助を胴縁に取付けて、【5b】(【6c】、【4b】)で固定

2: 端部に胴縁キャップをはめて、【4a】、【4b】で固定

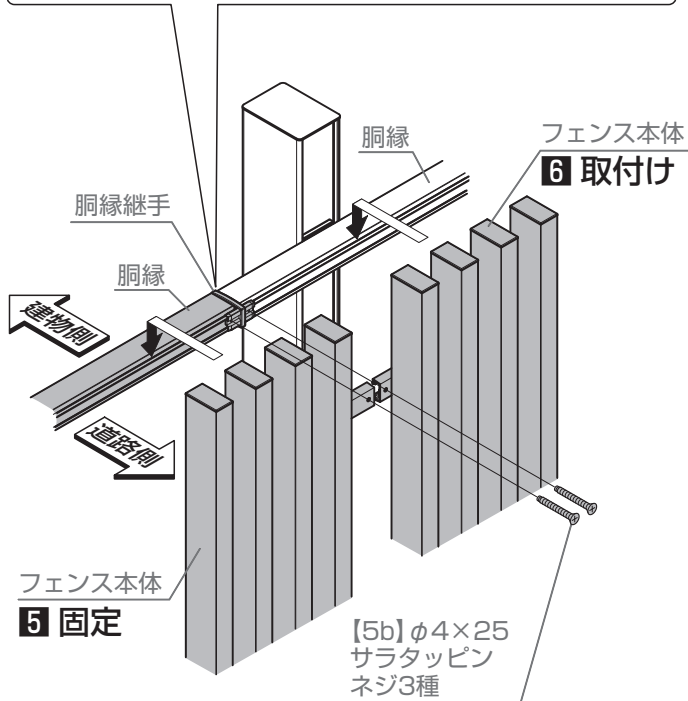
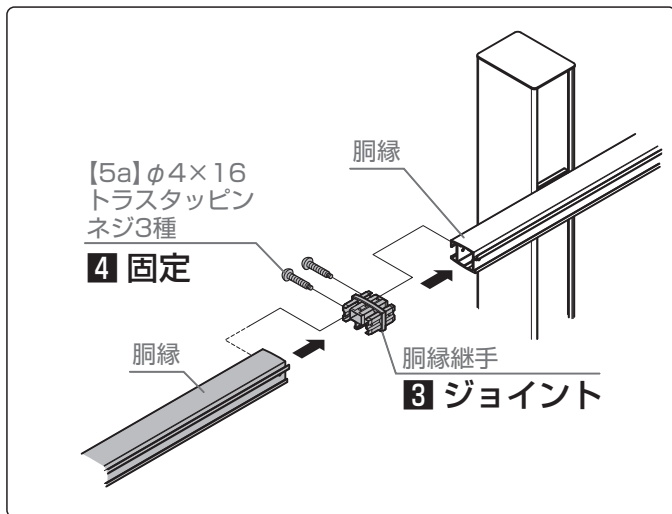


3: 胴縁同士を胴縁継手でジョイント

4: 胴縁継手と胴縁を【5a】で固定

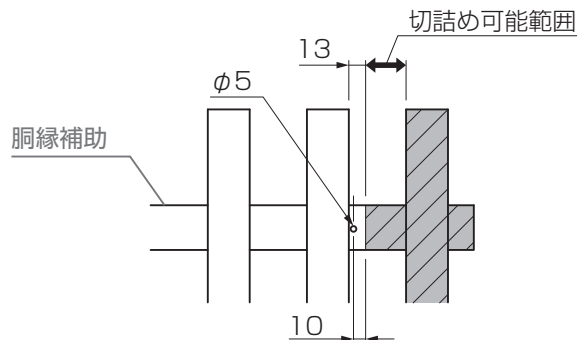
5: フェンス本体と胴縁継手を【5b】で固定

6: フェンス本体を連結した側の胴縁に【1】～【5】の手順で取付け



## フェンス本体の端部を切詰める場合

● 胴縁、胴縁補助を切詰め可能範囲内の長さで切断し、端部から10mmの位置に、胴縁補助にはφ5の孔、胴縁にはφ3.4の孔を前後に開け直して使用してください。



# 4 コーナーの施工

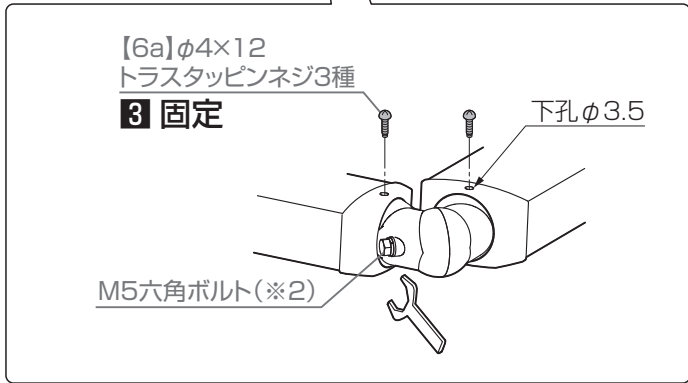
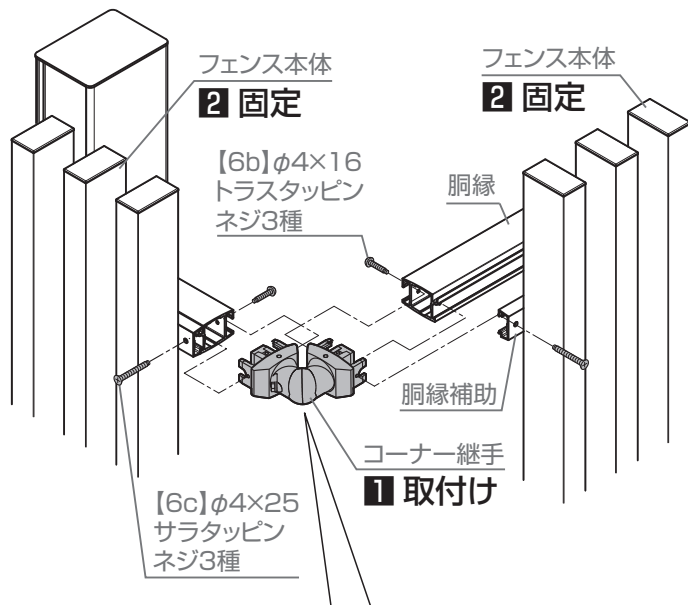
## 4-1 フェンス本体の取付け

- ❶: コーナー継手を胴縁・胴縁補助、もう1方の胴縁にはめ込み【6b】、【6c】で取付け

### 補足

- コーナー継手は(※2)のボルトを緩め、各部品を回転することで3次元に向きを変えることができます。

- ❷: フェンス本体を胴縁に引っ掛け、コーナー継手にスライドして【6c】で固定  
 ❸: コーナー継手を(※2)のボルトと【6a】で固定

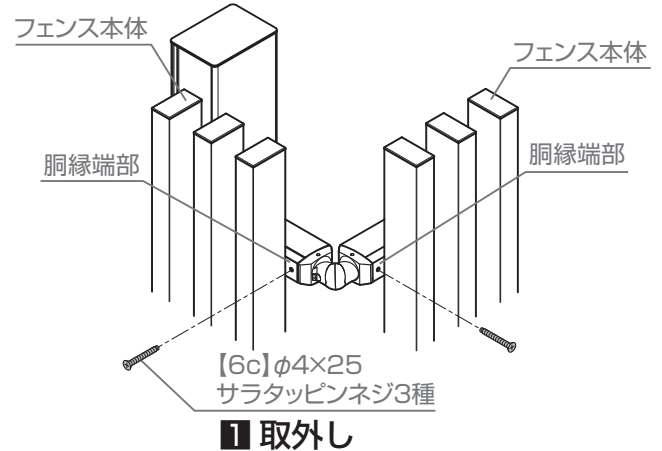


## 4-2 コーナー格子の取付け

### 補足

- コーナー格子は左右兼用となっています。

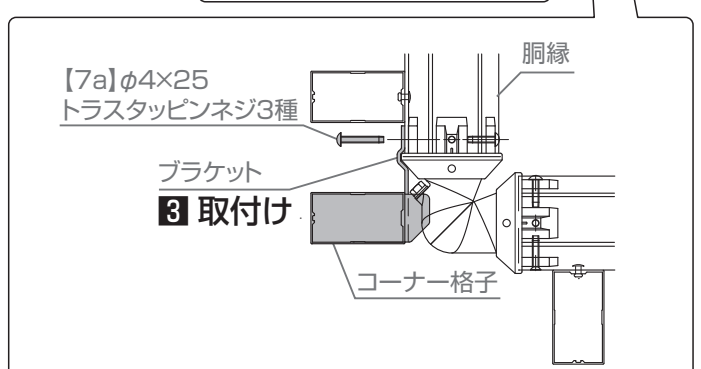
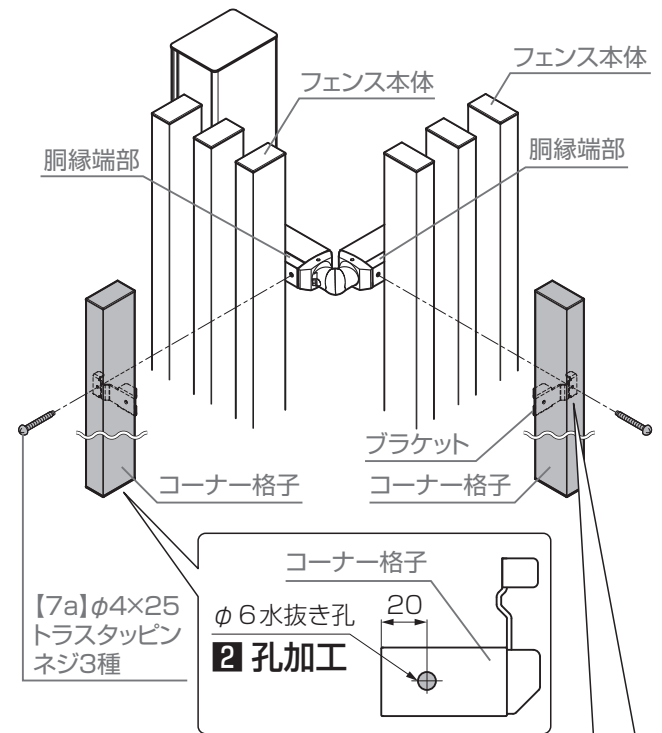
- ❶: コーナー格子を取付ける側の胴縁端部の【6c】を取外し



- ❷: コーナー格子のキャップ下側に水抜き孔加工  
 ❸: コーナー格子のブラケットを胴縁端部に【7a】で取付け

### ● コーナー角度対応範囲

	コーナー格子なし	コーナー格子1本	コーナー格子2本
出隅	90°~180°	90°~180°	90°~130°
入隅	110°~180°	150°~180°	不可



# メモページ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

取説コード

**EXM-109**

JZZ638522  
202305\_1049